

近年、我が国では、人口減少や少子化、後期高齢者の増加などを背景に、複雑化・複合化した困難を抱える世帯や望まない孤独・孤立といった社会課題が顕在化しています。また、コロナ禍を経て地域のつながりが希薄化するなど、地域の在り方も変化しています。

こうした課題に対応するため、松前町では、令和8年度から令和12年度までを計画期間とする松前町地域福祉計画を策定しました。この計画は、行政と地域が一体となり、社会の変容に伴う様々な課題に対応するため、これまで個別に進めてきた福祉の取組を地域全体の視点で結び、地域のつながりの力を生かして解決を図ろうとするものです。

本町の最上位計画である「第5次 松前町総合計画」では、目指す将来像として「生きる喜び あふれる まち まさき」を掲げています。子どもから高齢者まで、町民一人ひとりが日々生きている幸せを実感しながら、働き、学び、憩い、楽しみ、笑顔で暮らすことができる生活自立のまちをつくっていくという想いを込めています。

福祉分野においても、地域のつながりの力で、誰一人取り残さない、町民一人ひとりが自分らしく暮らすことのできるまちをつくり、生きる喜びがあふれる松前町の実現に向かって取り組んでまいります。

終わりに、本計画の策定に当たり、貴重な御意見や御助言をいただきました地域福祉計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、アンケートやヒアリングに御協力いただきました多くの町民の皆様や関係団体の方々に心から感謝を申し上げます。今後の計画推進に当たりましても、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

松前町長 田中 浩介